



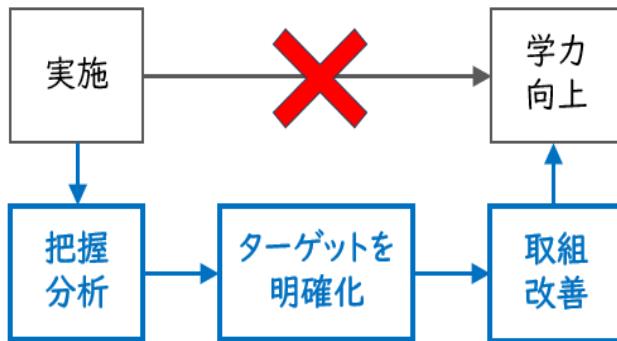
# 定着状況ウォームアップの活用

定着状況ウォームアップは岡山県内の小学校278校のうち、10月2日時点で**72% (199校)**で実施され、**第4学年版・第5学年版・第6学年版**のそれぞれにおいて、**5500回以上**活用されています。また、**中学校14校**においても、**1126回**活用されています。今号では、定着状況ウォームアップの活用方法をご紹介します。

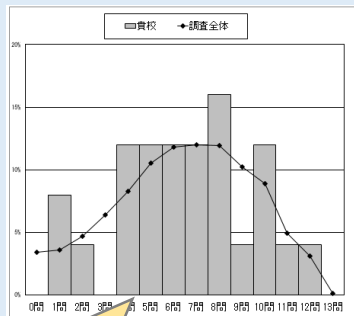
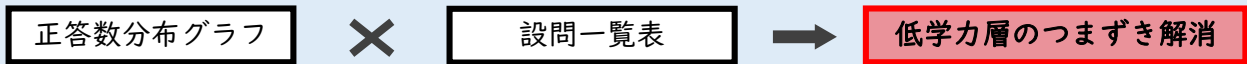
## 活用イメージ

定着状況ウォームアップは、**目的ではなく手段**です。実施したことによって単純に算数の力が付くというわけではありません。活用の在り方は次のとおりです。

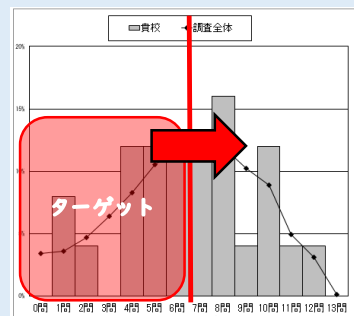
- ①定着状況ウォームアップを実施する。
- ②児童の**正答率**を把握・分析する。
- ③**ターゲット**が明確になる。
- ④課題解決に向けた**取組**を実施する。



上記の②と③については、実施した学校の「**正答数分布グラフ**」と「**設問一覧表**」を市町村教育委員会に提供しています。これらを組み合わせることで、つまづきを抱えている子どもの現状が明確になります。



設問番号	設問内容	解答	難易度	正答率	達成率
1	1000の半分は500です。	500	C	100%	100%
2	1000の半分は2000です。	2000	C	100%	100%
3	1000の半分は5000です。	2000	C	100%	100%
4	1000の半分は10000です。	2000	C	100%	100%
5	1000の半分は20000です。	2000	C	100%	100%
6	1000の半分は50000です。	2000	C	100%	100%
7	1000の半分は100000です。	2000	C	100%	100%
8	1000の半分は200000です。	2000	C	100%	100%
9	1000の半分は500000です。	2000	C	100%	100%
10	1000の半分は1000000です。	2000	C	100%	100%
11	1000の半分は2000000です。	2000	C	100%	100%
12	1000の半分は5000000です。	2000	C	100%	100%
13	1000の半分は10000000です。	2000	C	100%	100%



定着状況ウォームアップを実施した後の正答数グラフから、定着状況が把握できます。

A: 難しい問題 B: やや難しい問題 C: 基本的な問題

設問一覧表に示してある問題レベルの「C」は、当該学年の全ての児童が正答することを想定（**正答率100%**）しており、4年生では「C」を7問設定しています。

全員が「C」の問題をクリアできるような手立てを講ずることが大切です。

ターゲットを明確にして取組を行った後、その取組の結果を確認するための**チェック**として、2回目の実施も考えられます。短いサイクルによる学習内容定着の確認に当たって、C B Tは効果を発揮します。朝学習や家庭学習での活用など、時間や場所に制限されないこともメリットであり、個別最適な学びを促し、自己調整力を高めるために用いることも考えられます。

児童が今年度の学習内容を確実に習得しておくことで、次年度の学習にスムーズに取り組むことができるね。

次年度に課題を残さないよう、定着状況ウォームアップで子どもたちの状況をチェックし、**誰一人取り残さない取組を進めてください!**

